

鹿児島県志布志市

～ 茶の新植による耕作放棄地解消～

[地域指定]	-
[農業地域類型]	平地地域
経営耕地面積	2,257ha
耕作放棄面積	農家 87ha 土地持ち非農家 62ha

【地域の概要】

志布志市においては、茶を推奨作物として各種振興施策を展開しているが、高齢化・兼業化等農業経営の不安定要因に加え、土地基盤未整備地域では、大型機械の導入が困難であることから、借り手の確保が難しく、耕作放棄地となる傾向がある。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

当地域内においては、畑かん施設を活用した農業振興と併せて、増加しつつある耕作放棄地の解消が課題となっていた。

J A あおぞらの子会社である有限会社いろは農園有明は、農業生産法人として地域農業、とりわけ茶の生産・加工等を行っている。その中で、高齢化等により耕作できなくなった一定規模（30a以上）の農地については、当該法人が一定期間借り受けし、茶を新植した後、管理するシステム（新植事業）を取り入れ経営規模の拡大を図っているところである。

耕作放棄地解消に向けた取組

耕作放棄地解消面積：0.52ヘクタール 取組時期：平成17年度～

有限会社いろは農園有明は、市内の農地を有効に活用する受け手として、また茶業を通じて地域に根ざした組織として、今後とも社会的役割を誠実に果たしていきたいと考えていることから、志布志市としても関係機関とも協力の上、今回の事業をモデル的な実証事例として、更に事業を展開していくこととしている。

【現地写真】



整備前



整備後

